

平成27年度定例総会議事録

特別非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会

1. 総会の種類 定例総会
2. 開催日時及び場所
 - (1) 開催日時 平成27年6月13日（土曜日）14時30分～17時19分
 - (2) 開催場所 池谷集会所
3. 正会員数及び出席正会員数
 - (1) 正会員数 34人
 - (2) 出席正会員数 26人（本人出席13人、委任状出席13人）
4. 議長の氏名
濱坂 都
5. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
増田 明弘
6. 議事録署名人
曾根 武、曾根 藤一郎
7. 議長選任の経過
定刻に至り司会曾根一真が開会を宣し、続いて代表理事山本が挨拶を行った。司会曾根より、議長濱坂が選任され、議長濱坂は、本日の臨時総会は定足数を満たしたので有効に成立する旨を告げた。事務局長多田が本日の出席者紹介を行った後、議案の審議に入った。
8. 議事経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権数）

■第1号議案 平成26年度事業報告の件

事務局長多田より、平成26年度事業報告があった。

■第2号議案 平成26年度決算報告の件

事務局長多田より、平成26年度の決算報告があり、続いて本日欠席の監事海津よりの監査報告を代読、適正に執行され、法令定款に違反する重大な事実がないことの報告がなされた。

■第3号議案 平成27年度事業計画の件

事務局長多田より、平成27年度事業計画の説明があった。

■第4号議案 平成27年度収支計画の件

事務局長多田より、平成27年度収支計画の説明があった。

■質疑応答

- ・予算の会費収入が増えていないが、会員を増やさないと受け取れる。これでは会員は増えない。会費収入が増えるような方策を考えて欲しい。（今村 安）
- ・直販でお米を買ってくれる人は、都会から池谷に来てくれるファンの人たち、チラシを置くとかではなく、交流人口を増やすことを考えていかないとお米の直販はジリ貧になるのでは？（今村 安）
 - ⇒交流人口の取組は継続、それに加えてチラシを置く対応を考えている。（事務局長多田）
 - ⇒平成25年度の交流人口は1097人、平成26年度の交流人口は780人となっている。（濱坂 都）
 - ⇒直販で地道で物を買ってくれる人を増やす。ということと、山清水米のブランド作りをどういうふうにするかが大切。（今村 安）
- ・十日町市内の人向けの販促を行ってはどうか？ 銀行や教員など高所得層の方に、食の良さをアピールし、配達など行ってはどうか？ めぶきを利用したオープンカフェや試食会はどう

か？（大嶋 由紀子）

⇒十日町市内の方に米の販促をかけるという取組はしておらず、今後は検討したい。

（事務局長多田）

- ・めぶきがらみの建設 建設前の当初の予算、400万の予算オーバーの根拠を知りたい。

（本間 清和）

⇒もともとは1千万で家ができるというお話があり、その時に建てようとしていた土地が
かわり設計の変更と、土地も変更により土地の取得費用200万が多くなった。

（多田事務局長）

⇒最初から、見積書を業者にとるべきかと思うが、そういうものはとっていたのか？

（本間 清和）

⇒とっていなかった。（事務局長多田）

⇒NPO法人として最初からきちんとやるべきだった。法人の危うくさせる部分となる。

いきさつを全部だして説明がほしい。これだけかかったと業者さんのいいなりになるだけ

（本間 清和）

- ・めぶき建築については、金額がでかいですから、必ず契約書、仕様書は必ず必要。こういう
高額の工事だから、相見積りがきちんと必要。これからはきちんとしていただきたい（今村 安）
⇒入札などは、行政にまかしたほうがいい（伊藤 順造）
⇒当初計画したところに立てられなくなったことで予算がオーバーした。募金をいただいた方
には経緯を郵送して報告した。どういう工程で完成したかという文書も協力していただい
た方に送付したい。（代表理事山本）

- ・めぶきに関しては、請負じゃない建物、今回のチャレンジは自分たちの手で作るということ
その金額でできている。請負とって相見積りしてという形ではない。若い農業をする人が何千万
のローンをくまないと住めないのかという問題について、それができるようにわれわれも協力
した。いわゆる請負ではなく自主工事であり、施工者が建て主となっている。（佐藤 幸治）
⇒残りの工程については、きちんとした見積りは取っているのか？（本間 清和）
⇒残った工程は見積もりはとっている。最初の見積もりは、消費税があがるから早く契約を
した方がよいという意見もあり、きちんと精緻な見積もりを事前にとれなかった。
（事務局長多田）

- ・今回のめぶきの自主施工は、個人ではなく、十日町市地域おこし実行委員会だからできた事
である。そういうノウハウをしっかりとまとめて、提供できるような形にしていきたい。
めぶきをつくったことの意味合いがまたひとつできる（曾根 昭広）
⇒今回は新築であったが、空家だったらもっと安くできる。今回は経験をつませていただいた
ことをひとつのステップにして、今後に活かしていきたい（事務局長多田）
⇒情報発信としてできるようにしていただければ、それもひとつの地域おこしである。ひとつ
ひとつがノウハウ 地域おこしになっている（曾根 昭広）

■議案別の議決結果

議長は全議案を、議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

以上ですべての議案の審議を終了したので議長は退任の挨拶を行い、17時19分に閉会した。

平成27年6月13日

議事録署名人 署名欄

印

